

天文学の扉を開こう

6月の夜空

【土星と衛星】

土星が見ごろを迎えます。梅雨の時期に重なってしまいましたが、晴れ間に望遠鏡で見る機会がありましたら、衛星にも注目してみてください。そこには、今、生き物がいるかもしれないからです。

生命の誕生と生存に必要な条件は、3つあるとされています。それは、液体の水と生命の材料になる有機物、そしてエネルギー供給源（熱源）が常にあることです。土星の衛星には、この3条件が揃っているらしいものがあります。それは、大きさ約500kmのエンケラドスです。

氷に閉ざされたこの衛星は、カッシーニ探査機が撮影した画像では、宇宙に浮かぶ雪玉のように見えます。表面のでこぼこや汚れが少なく、太陽光をよく反射するからです。他の衛星はでこぼこで汚れているので、この衛星の表面は新しいのかもしれないという考えが浮かびます。実際、水蒸気を噴き出す百カ所以上の間欠泉が南極に発見され、これが元になっているらしい、ごく薄い水蒸気の大気もありました。この事実から、微小な氷ができて降り積もったり、霜がついたりして、表面が新しくなっているのだろうという想像ができます。間欠泉からは、さらに、ケイ素の化合物と有機物も噴出していました。

間欠泉は、厚さ数10kmの氷の下に水が閉じ込められていて、氷の隙間から噴き出しているのだとすると筋が通ります。探査機で探った結果、南極には、そのような水（海）が本当にあるらしいことがわかりました。また、ケイ素の化合物を調べると、熱水に含まれる物質が急冷されたときにできるものであることも判明しました。これは、海の底から熱水が湧き出していると考えると話がすすきります。

こうして、エンケラドスには、「海」「有機物」「熱水」という生命の誕生と生存に必要な3条件が揃っているらしいことがわかりました。分厚い氷の下ですから、直接の出会いはないかもしれませんが、エンケラドスには、今、この瞬間、私たちと同じ時を生きている生命がいるかもしれません。遠くの星々の周りではなく、こんなに近いところに、別の生き物がいるかもしれないというのもまた、太陽系の奥深さを感じさせてくれるような気がします。

6月のぐま天文台のイベント

- ・ 6日(土) 連続講演会「行け! 「はやぶさ2」、頑張れ! 「あかつき」 第1回
・ 太陽系小天体への挑戦 - 「はやぶさ2」からスペースガードまで-
講師: 吉川 真氏
(JAXA宇宙科学研究所准教授)
- ・ 27日(土) 連続講演会「行け! 「はやぶさ2」、頑張れ! 「あかつき」 第2回
・ はやぶさ2時代の小天体科学
講師: 矢野 創氏
(JAXA宇宙科学研究所助教)

○星図の説明

6月15日午後9時の高山村の星空。
月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも同じ星空になります。(月を除く。)



リトルミュージアム

高山幼稚園5歳児の作品
こいのぼりとかぶとを作りました。



こいけ りゅうせい くん



たけだ ゆうり くん

わが家の

アイドル

※わが家のアイドル(6カ月～4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話をください。お待ちしております。(※ハッシュタグ #26-7944(直通))



北之谷 石川りん花ちゃん(2歳)

私の名前は「りんか」です。
ロンドンオリンピックが行われている時に生まれたので、この名前を付けてくれたそうです。
ハムやお肉、納豆が大好きです。
おまごとや人形で遊ぶ事が好きで、歌を歌ってみんなに喜んでもらえるのがとってもうれしいです。
高校生のお姉ちゃんと中学生のお兄ちゃんがいつも一緒に遊んでくれるので、帰ってくるのを毎日楽しみに待っているんだよ。



役原 山口 賢とくん(2歳)

僕の名前は「けん」とです。
強く優しく賢い子になってほしいと名付けてもらいました。
体を動かすことが大好きで、最近はサッカーがお気に入り。みんなが驚くくらいのシュートを決めてるよ！
お兄ちゃんといつも一緒。何でもお兄ちゃんのマネをして遊んでいます。ケンカもしちゃうけど、優しいお兄ちゃんが大好き！ずっと仲良しでいようね。



最後に、季節の変わり目です。自分共々、体調管理に気を付ける季節になりました。皆さんも、熱中症には気を付けてください。

高山ぶらぶら <http://taka-midori06.jugem.jp/>

こんにちは！第22期緑のふるさと協力隊の手柴瑞代です。
早いもので、高山村に来て2カ月が過ぎようとしています。農家さんのお手伝いをしたり、イベントに参加したりして、少しずつ高山村の生活にも慣れてきました。
生活に慣れてきたところで、サークル活動の見学に行きました。いぶき太鼓に社会人サッカー。6月には、ならの木読書会で小学校1年生のクラスで読み聞かせをする予定です。
人前で話すのは苦手なので、今から緊張しています。生活には慣れても、道を覚えるのに苦労しています。そこで皆さんにお願いがあります。様々な農家さんのお手伝いやイベントに参加することで道を覚えられと思います。忙しくて申し込みを忘れてしまう方、また申し込みを迷っている方、ぜひ地域振興課に気軽に電話して申し込んでください。私にできることは少ないかもしれませんが、話し相手やちょっとしたことでもお手伝いさせてください。その時に、高山村の事を色々と教えていただけたら幸いです。

こちら「6代目緑のふるさと協力隊」